

目次

第1編 理論編

第1章 野生動物管理と人間	3
1. 人間と野生動物の利用	3
2. 生物資源の利用と管理の現状	4
3. 野生動物管理の思想と科学	6
4. 日本における野生動物管理の基層	9
5. まとめ	12
第2章 日本産野生動物の多様性と生態	15
1. はじめに	15
2. 日本産野生動物の生物地理	16
3. 日本産野生動物の保全生態学的特性	21
第3章 野生動物の科学的管理	29
1. 水産資源管理の考え方	29
2. マイワシの漁獲可能量と 漁獲量の乖離	31
3. マサバ漁業の乱獲	32
4. ミナミマグロ	35
5. 漁獲管理のパラダイムシフト	37
6. エゾシカの乱獲と大発生	37
7. マングースの根絶の可能性	39
第4章 野生動物管理のシステム	43
1. 野生動物管理とは	43
2. 順応的管理	44
3. 野生動物管理における人間的側面	44
4. 日本における野生動物管理の 歴史と課題	45
5. 海外の野生動物管理システム	47
6. ヨーロッパ25か国のシカ管理	49
7. 日本における野生動物管理システムの 構築に向けて	51

第5章 野生動物管理における 動物愛護の理念	55
1. 動物愛護とは何か	55
2. 日本人の動物観	58
3. 野生動物の保護管理の理念の変化	60
4. 動物の安楽殺処分	63
5. 動物愛護の理念のパラダイムの 構築に向けて	64
第6章 野生動物保護管理に関わる法律	67
1. 野生動物保護管理に関わる 法律の歩み	67
2. 野生動物保護管理に関わる 基本法・戦略等	68
3. 野生動物保護管理に関わる個別法	70
4. 今後の動向	77
第7章 農林業被害と野生動物管理	79
1. 野生動物による農林業被害	79
2. 農林業被害の推移と現状	81
3. 被害対策	84
4. 総合的防除を目指す	91
第8章 絶滅危惧種の保全と管理	95
1. 絶滅危惧種とはなにか	95
2. 絶滅原因とメカニズム	96
3. 絶滅の回避と回復のためのシナリオ	97
4. 絶滅危惧種の管理	100
第9章 外来種管理の考え方	105
1. 外来種の定義	105
2. 外来種による影響と問題	106
3. 外来動物対策に関する制度	110
4. 日本における外来動物対策	112

5. 外来種対策の展望	113	3. 群れで生息する鳥の調査方法	191
第10章 生態系と野生動物の インパクト	117	第15章 捕獲と標識技術	195
1. 生態系	117	1. はじめに	195
2. 野生動物による植物群落への影響	118	2. 捕獲時の危機管理 — 捕獲を実施する上での心構え —	195
3. 野生動物の生息地としての植生	120	3. 物理的不動化法	196
4. 野生動物管理とシカによる 生態系への影響	124	4. 化学的不動化	198
5. 個体群管理と“生態系管理”	126	5. 捕獲に当たっての許認可	203
第11章 野生動物の価値と利用	131	6. 捕獲作業の実際	203
1. 自然資源としての野生動物	131	7. 標識	206
2. 野生動物の資源的価値	134	8. 致命的捕獲法	207
3. おわりに	141	9. 各動物種の捕獲	209
〈コラム1〉 地域社会と 野生動物被害の防除	143	〈コラム2〉 自動撮影カメラによる 調査技術	219
第2編 技術編		第16章 ラジオトラッキング技術	227
第1部 モニタリングと基礎技術		1. ラジオトラッキングとはなにか	227
第12章 野生動物管理における モニタリング	155	2. 研究計画	228
1. はじめに	155	3. 機材の準備	228
2. 分布調査	155	4. 装着	232
3. 相対密度指標	156	5. 追跡技術	233
4. 合意形成と意思決定プロセス	165	6. データ解析	234
5. おわりに	166	7. 法令	237
第13章 哺乳類の生息数調査法	171	8. おわりに	237
1. はじめに	171	第17章 遺伝マーカーによる調査法	241
2. 個体数調査の考え方	171	1. はじめに	241
3. 個体数調査の各種方法	176	2. DNA分析方法	241
4. 日本における個体数調査の課題	181	3. 遺伝マーカー	244
第14章 鳥類の生息数調査方法	185	4. 遺伝学的モニタリング	250
1. 小型・中型の陸鳥の調査方法	185	5. 遺伝マーカーによる調査で 注意すべき点	254
2. ホームレンジの広い 大型の鳥の調査方法	191	第18章 分布と生息環境評価法	259
		1. はじめに	259
		2. 分布情報	260
		3. 空間としての生息地	261
		4. 生息地の評価	262

のための調査……………	399	3. その他の哺乳類	
3. 捕獲による個体数管理の実施 ……	403	—農作物被害加害種を中心に ……	458
4. 被害対策の実施 ……	405	第33章 猛禽類の個体群と	
第29章 サルの個体群と		生息地の管理技術 ……	467
生息地の管理技術 ……	409	1. 生態学的特性 ……	467
1. 管理の現状と課題 ……	409	2. 個体群の動向 ……	469
2. 個体群管理手法 ……	414	3. 生息地保全 ……	472
3. 生息地管理手法 ……	416	第34章 狩猟鳥個体群と	
4. 被害管理手法 ……	419	生息地の管理技術 ……	479
第30章 ツキノワグマの個体群と		1. キジ類 ……	479
生息地の管理技術 ……	423	2. カモ類 ……	485
1. 管理の現状と課題 ……	423	第35章 カワウの個体群と	
2. 個体群管理の手法 ……	427	生息地の管理技術 ……	491
3. 生息環境管理の手法 ……	430	1. 管理の現状と課題 ……	491
4. 被害管理の手法 ……	433	2. 個体群管理手法 ……	495
5. おわりに ……	434	3. 生息地管理手法 ……	497
第31章 ヒグマの個体群と		4. 被害管理手法 ……	497
生息地の管理技術 ……	435	〈コラム4〉 フライウェイの保全と管理 ……	503
1. 管理の現状と課題 ……	435	第36章 被害対策のための	
2. 個体群管理手法 ……	438	行動制御技術 ……	511
3. 生息地管理手法 ……	443	1. 野生動物の行動特性 ……	511
4. 被害管理手法 ……	445	2. 被害管理に向けた行動制御 ……	515
第32章 中・小型哺乳類の個体群と		3. 生息地管理に向けた行動制御 ……	517
生息地の管理技術 ……	451	4. 個体数管理に向けた行動制御 ……	519
1. キツネ ……	451	〈コラム5〉 捕獲個体の資源的活用と	
2. タヌキ ……	455	衛生管理 ……	525